



発行所  
カトリック福江教会  
広報委員会  
五島市末広町 3-6  
TEL 0959 (72) 3957  
●ホームページ●  
<http://www15.ocn.ne.jp/~mikokoro/>

# 新たな季節に



協働司祭  
葛島輝義

季節は流れない、それは積み重なる。青葉から吹く風が福江教会の門に立つ不格好な司祭をそう促します。

「わたしは門の外に立ち、扉をたいている。もし声を聞いて門を開けるなら、わたしは中に入り、あなたと共に住む」。(黙示録)

俵町、青砂ヶ浦、井持浦と門をたく季節を積み重ね、50代半ばになって、叙階からようやく10年。神様の大きいなるはからいにより、11年目は福江教会の門をたたくことに始まりました。奇しくも、門の中は教会献堂50周年、信徒会館落成という節目の季節。その喜びを共にする幸せを噛み締めています。病を授かり、不評が漂い、この地

でどれくらい季節が積み重なるものか分かりませんが、司祭の端くれとして皆様の小さな力になれることを夢見ています。それは、福江がこの司祭にとって特別な景勝地であり、一つの良心のような地だからです。

長崎教区協働司祭第一号、期待と不安が織り成す叙階11年目の思いを込めると、単純な言葉になってしまいい、口惜しいのですが、「どうぞ、よろしく願います」。

.....

## よろしく お願いします



助任司祭  
野濱達也

五島への出発の日、慣れ親しんだ長崎を離れることは何となく寂しさ

もありました。しかしそれはすぐに喜びへと変わっていきます。福江港で、また教会で信徒の方々が出迎えてくださった時、たいへんありがたく、嬉しく思いました。あなたがたは悲しむが、その悲しみは喜びに変わる(ヨハネ16・20)そんなキリストのみことばを思い起こします。

私は中町教会の出身で、司祭叙階後は長崎カトリック神学院に着任し、ずっと長崎で育ち、生活してきました。しかしながら、五島は両親の故郷の土地。自分にも五島の血が流れている事を思うところの土地に親しみを感じます。

初めての教会司牧。不慣れなことも多く、戸惑いもあります。また福江教会の助任である一方、井持浦教会も担当します。そのため井持浦との行き来などで皆様にご迷惑をおかけすることもあるかもしれません。

まだまだ若輩、未経験な者ではございますが、自分に与えられた使命を忠実に果たし、皆様の力になれるよう最善を尽くしたいと思えます。

どうぞよろしくお願いいたします。

## 神学生の堅信式

6月4日長崎カトリック神学院にて神学生の堅信式が高見大司教のもと執り行われた。

今回堅信の秘蹟を授かる3人のうち2人は福江教会出身である。大司教、神学院担任司祭、神学生一同、そして堅信を受ける子供の保護者で包まれミサが始まった。減少傾向にある聖職者志願者への誇り、またこれからもその道へ進むべく努力を怠らないよう激励を受けた。

ミサの後はお祝いとして大司教を交えた祝賀が行われ、神学生による合唱また大司教と懇話する保護者など一つの喜びをみんなで分かち合ったものであった。この通過点の行事に参加した保護者は、わが子の喜びを共有するとともにお世話になる方々への感謝の日となった。

「堅信」とはなにか、またその意味すること



式後高見大司教を囲んでの記念撮影

味することなど家庭で分かち合いい、そしてその喜びを共に迎えることが出来るよう考える機会ともなった。

# 信徒会館完成にあたりまして

平成 26 年 4 月には福江小教区設立 100 周年を迎えます。

福江教会共同体の結束の証として、老朽化が進んでいました信徒会館と司祭館の改築を 100 周年記念事業として計画いたしました。

この計画では、両建物を平成 25 年から 26 年にかけて改築を進めることにしておりましたが、今日の経済動向が不透明な状況にあることから、急遽信徒会館の改築を先行して実施すべく計画を変更し、聖堂献堂 50 年の平成 24 年 4 月までに完成をめざして取り組みました。

東日本大震災による影響もありましたが、関係者の皆様のご協力とご尽力によりまして無事完成することが出来ました。

建設に要した費用の大半を負担して頂きました信徒の皆様また工事に携わった関係者の皆様へ感謝とお礼を申し上げます。

またこの後司祭館の改築が計画されており、これからも皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

司祭館信徒会館建設委員会

## 新しい信徒会館の概要

- 鉄骨 2 階建瓦葺
  - 床面積 375.65㎡ (1 階 247㎡ 2 階 128.65㎡)
  - 1 階の配置 ホール・ステージ・和室・調理室・売店・倉庫・トイレ手洗い
  - 2 階の配置 事務室 3 室・子供室・和室・会議室・湯沸し室・シャワー室・トイレ
- ※宿泊を要する行事や通夜などに対応した設計となっています。

## 工事の概要

- 総事業費 約 7,700 万
  - 設計管理業務 ライト設計事務所 (長崎市)
  - 建築工事 岩下建設 (五島市)
- ※工事関係者 小畑電設 野口鉄工所 岩忠工業 片山組 岩下木工所など 10 数社

## 信徒会館改築事業費内訳書

平成 24 年 5 月 25 日現在

### 収入の部

科目	金額
番町南地区納入額	12,008,750
番町北地区納入額	9,482,500
松山地区納入額	11,675,130
町地区納入額	6,457,250
水主町地区納入額	5,415,000
地区外納入額	608,500
小計	45,647,130
建物整備積立金	35,500,000
香典返し積立金	7,184,492
建設基金募金箱	3,295,019
教会改修工事執行残	3,000,902
墓地移転工事執行残	8,495,001
建物賃貸料	2,472,622
小計	59,948,036
バザー収益金	681,940
浜口神父様特別寄付	1,000,000
小島神父様特別寄付	1,000,000
福江修道院特別寄付	300,000
聖家族修道院特別寄付	150,000
その他一般寄付	1,225,000
小計	4,356,940
雑収入 (利息)	305,129
総合計	110,257,235

### 支出の部

科目	金額
信徒会館改築請負工事費	69,090,000
信徒会館追加工事費	3,150,000
設計費及び管理費	1,239,840
解体費用 (信徒会館)	2,489,340
解体費用 (車庫・売店)	696,475
調査及び申請・検査料	133,360
小計	76,799,015
聖心ご像	100,590
ブラインド工事	641,996
手すり工事	252,768
音響設備工事	100,000
小計	1,095,354
備品購入費 (椅子・机ほか)	1,547,700
台所設備器具一式	879,007
小計	2,426,707
登記費用	137,250
その他諸費用	462,290
小計	599,540
総合計	80,920,616
総収入金額	110,257,235
総支出金額	80,920,616
差引残額	29,336,619

※ 総収入金額から総支出金額を差し引いた残額につきましては、司祭館改築の費用に充てますが、まだ足りませんので、これからも皆様のご協力をお願いいたします。

# 信徒会館落成祝賀会

献堂 50 周年と信徒会館落成式が 5 月 6 日に行われました。

4 月 22 日には高見大司教の下、招待者、建設関係者などによって行われましたが、今回は日々教会に携わり若しくは記念すべくこの喜びに賛同する信者を集めてのお祝い行事となりました。信徒会館の新築については、皆様のご支援により完成することが出来ました。

気軽に使っていただくことで、皆様へのお返しとなるでしょう。

この日は神学生が朝の船便で院に帰る日でありましたが、お祝いの日で結局最終の船便で帰ることになりましたが式を盛り上げました。



# 第20回 ルルド祭

5 月 27 日 (日)、今年

は「聖母マリアと共に信仰の再発見」をテーマとして、井持浦には各教会から多くの信者が集まり、まぶしい日差しの中なかに聖母行列から始まった。

その後御ミサが執り行われ、ルルド祭も今回で 20 回目を迎えるが、「信仰について」「ルルド祭の目的」「ルルドを守り継いできた先人達の努力」などあらためて思い起こすべく意義のある時間となった。

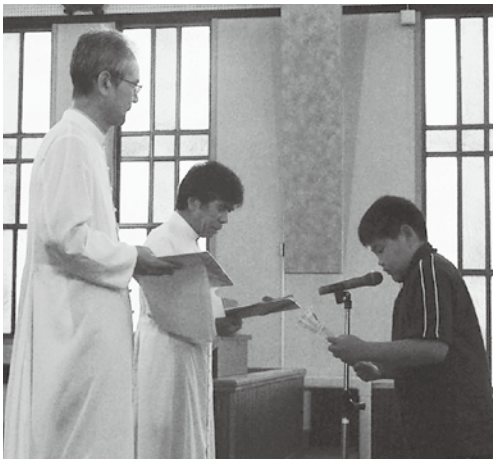


# 霊名のお祝い

また、準備から片づけまでお世話して頂いた地元の信者の皆様へ感謝しながら帰路へついった。

6 月 24 日 2 番ミサ後に、聖ペトロ下口神父様と聖パウロ葛島神父様の霊名のお祝いが行われた。

信者から霊的花束や記念品の贈呈、御祝の言葉とともに「これからも健康には留意し司牧し続けてほしい」と宮崎議長及び子供代表



から伝えられた。

下口神父様は「聖ペトロは失敗を繰り返しながら、純粹に神に仕えてきた。聖ペトロに習って神の愛の宣教を行っていききたい。また自分にとってこの一年は正念場と考えている。自分の癖を直し、話しやすい人になっていきたい。」と付け加えられた。

葛島神父様は「福江に来て、皆さんにもらってばかりで嬉しくて天にも昇る気持ちです。一つ一つ小さなことからみなさんの為にしていきたいと思いますが、みなさんの気持ちを力にこれからも頑張っていきたい」とお礼を述べられた。



# 野濱神父様 デビュー!! ナイターソフトボール

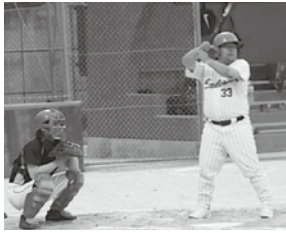
エクレジアチームの活躍  
や好成績をお祈りいたし  
ます。  
また、信徒の皆様もご  
声援をお願いいたします。



五月二十四日(木) 体育協会長旗  
ナイターソフトボール大会にて、野  
濱助任神父様がファーストピッチの  
エクレジアチームで先発八番サー  
ド、背番号三十三にてデビューいた  
しました。

成績は、一打席目はヒット、二  
打席目はデッドボール、三打席目  
はファーストゴロと活躍を見せま  
したが残念ながら十二対四で負  
けてしまいました。

これから大会  
がありますの  
で野濱神父様、



## 手作りまんじゅう販売

今年、教会  
は長崎信徒  
発見150  
周年を記念  
します。

この記念日  
に合わせて、  
中学生は、信



仰教育の一環として、この信徒発見に  
関する学習に時間をかけ、実際に現  
場へ巡礼に行きたいと計画しました。  
そして、その巡礼の費用集めのた  
め、6月24日、2番ミサ後に、互  
いに協力し合って作った手作りまん  
じゅうの販売を行いました。

中学生の教会活動としては初めて  
のものでした。おかげ様でまんじゅ  
うはすぐに完売することが出来まし  
た。本当にありがとうございます。  
合わせて、まんじゅう作りを教え  
てくださった信徒・シスターの皆様、  
その他多方面でご協力くださり、温  
かい真心までくださった皆様に、こ  
の場を借りて深く感謝申し上げます。

## 下五島地区青年会

6月15日(金) 福江教会信徒会館  
にて下五島地区青年会が開催された。  
水ノ浦教会主任神父様の山口神父  
様、福江教会の野濱神父様をはじめ、  
福江教会・楠原教会・打折教会の信  
者が集まった。

この会の目的は、各教会の信者が  
集まり祈りを捧げ、また話し合う機  
会とすることで下五島の信者の交流  
を図り、各教会の活性へつながらる礎  
になることを願うものである。

信者の高齢化また信仰への心離  
れから寂しく  
なりつつある  
教区を再燃す  
べく若者たち  
の決起に賛同  
するとともに、  
今後の活動に  
期待したい。



信徒の皆様にはいただいた愛情いっ  
ぱいの真心を大切に使用させていただ  
きます。また、今後の活動の際にも  
ご協力をよろしく願います。  
巡礼に関しましては、日程など具  
体的なことはまだ決まっておりませ  
んが、決まり次第、皆様にご報告さ  
せていただきたいと思います。

カテキスタ

## 《香典返し》御礼

23年	11月	冷水	熊雄	様
24年	12月	大楠	年雄	様
	1月	出口	岩記	様
		田口	富子	様
	2月	岩下	テル子	様
		浦道	チト子	様
	4月	樽角	一明	様
	6月	福島	エノ	様
		浜崎	博文	様

ありがとうございました。

## 編集後記

いつの間にか、今年も七月と  
なり四月に教会学校に入学した  
子供達も初聖体を無事に終えま  
した。カトリック信者としてのの  
階段をまた、一段上りました。

これからも、教会に近づき行  
くことが楽しくなるといいなと  
思います。夏に向けて、いろん  
な行事が予定されていますの  
で、家族そろって参加して下さ  
い。信徒会館も新しくなり皆様  
が、集える場所になるように催  
しを計画できたらと思います。  
皆様からも要望などありまし  
たら、教会役員まで声をかけて  
いただければ幸いです。

また、この広報誌「こころ」  
にも皆様の声を載せてみません  
か、お待ちしております。(K・N)